
I 本校が目指す姿

1 学校の現状や課題

【現状】

- 多様な進路志望に対応して、全校をあげてキャリア教育に取り組んでいる。
- 普通科・理数科・国際科の3学科が、それぞれ特色ある教育活動を展開している。
- 部活動加入率が高く、全国大会等の上位大会に出場できる部活動が複数ある。

【課題】

- 小中高大学との連携を一層充実・発展させる必要がある。
- 理数科・国際科の特色を生かした進路指導を充実させる必要がある。
- 生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に課題が見られる。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

- 人口減少の克服や地域産業の振興などが求められる中、ふるさとを愛し、地域を支える自覚と未来を切り開く気概に満ちた、確かな学力・豊かな心・健やかな身体を備えた人材の育成が求められる。
- 生徒数が減少する中であっても、教育環境を整え、教育の質を高めていくことが求められる。
- 高度情報化が進み、経済や暮らしの利便性が高まるとともに、情報の重要性が高まっていくため、情報活用能力・情報モラルの習得が求められる。

3 スクール・ポリシー

i) グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

- 真実為原の精神の下、世界平和と社会の発展に貢献し、多様な価値観をもつ相手と協働できる能力と人間性をもった生徒。
- 文武両道を通して、確かな学力・豊かな心・健やかな体を身に付けることで自己実現と社会貢献できる生徒。
- 進路目標の達成に向け、自分が選択した目標に対して幅広い知的興味や探究心をもつとともに、主体的に学び、考え、判断し、行動できる生徒。

ii) カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

○ 普通科

- 主体的・協働的な学習活動を通して、豊かな人間性や社会性及び豊かな教養を身に付け、将来社会に貢献できる人材を育成します。
- 生徒の興味・関心に応じた幅広い選択科目を設定し、多様な進路志望に対応できる教育課程を編成します。

○ 理数科

- 理科や数学に興味・関心をもつ生徒に対して、教科「理数」により、観察・実験や探究活動等の実践を含めた発展的な教育を行います。
- 県内大学との連携による授業等を通して専門性の深化を図り、科学やテクノロジーの進展と社会の変化に対応できる柔軟な思考力と新しいアイデアを生み出す創造力を育成します。

○ 国際科

- ・英語に加えて中国語など多彩な科目を設けて双方向的な授業を行い、高い外国語運用能力を身に付けるとともに、豊かな教養と協働の精神を有し、積極的に行動しようとする人材を育成します。
- ・学校設定教科「国際教養」により、学際的な視点から地域社会や国際社会について学ぶことで、問題発見・解決能力を養います。

iii) アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

本校の教育活動に主体的に取り組む意欲があり、次の(1)～(3)に当てはまる生徒を求める。

- (1) 学力向上に向け、授業を大切にするとともに自主学習に継続的に取り組むことのできる生徒。
- (2) 特別活動や校外活動に積極的に取り組み、自己を高めようとする向上心をもつ生徒。
- (3) 基本的生活習慣が身に付いており、社会の秩序やマナーを守って学校生活を送る意志がある生徒。

Ⅱ 5年間を通しての具体的な目標と取組

1 5年間を通しての具体的な目標

- ・多様な進路実現に向けて、すべての教育活動における個々の実践を記録・蓄積し、その活用を図る。
- ・様々な学校行事を通して自己肯定感を高め、卒業時アンケートでは由利高校満足度100%を目指す。
- ・部活動加入率90%以上を維持し、文武両道を目指すとともに社会性や人間性を育む。

2 目標を達成するための具体的な方法、取組等について

i) 3年間を見通したキャリア教育の推進と実践

- (1) キャリア教育に関する共通認識をもち、学校生活のあらゆる場面での指導に生かす。
- (2) 生徒の自己理解を促進させ、興味・関心のある分野を具体化し、探究活動を通して自己実現にむけてのサポートを全職員で行っていく。
- (3) 地域と連携しながら、インターンシップやボランティア活動への積極的な参加を推奨する。

ii) 思考力・判断力・表現力等を育む授業の展開

- (1) 生徒の実情に応じた組織的・系統的な学習指導を通して、生徒の基礎学力を高める。
- (2) 教科横断的な視点及び主体的・対話的で深い学びの視点での組織的な授業改善を推進する。
- (3) ICTを活用した学習を推進し、生徒の興味・関心を高めるとともに、論理的思考力や情報活用能力の育成を図る。

iii) 特色ある学校の創造

- (1) 3学科を有する特色を生かし、個々の生徒の適性に応じた学科選択や学科別活動等を通して、生徒の主体的に学ぼうとする態度の育成を図る。
- (2) 県内の大学等との連携や探究活動を通して、科学やテクノロジーの進展と社会の変化に柔軟に対応できる思考力と新たなアイデアを生み出す創造力の育成を図る。
- (3) 国内外様々な学校との交流や課題研究等を通じて、地域や国内外の諸問題について主体的に考え自ら解決しようとする姿勢の向上を図る。

令和3年6月策定
令和5年6月一部改訂
令和6年4月一部改訂